



夕立の 雨うち降れば 春日野の 尾花の末(うれ)の 白露思ほゆ

巻16-3819 小鯛王(こだいの おほきみ)

夕立が降ると涼しくていいねえ。でも、あんなに激しい雨に打たれて春日野の尾花は大丈夫だろうか。露を含んで頭を垂れているかしら。

スポーツが持つ意義と素晴らしさを！

夏休みも前半が終わろうとしています。暦の上では、立秋も過ぎましたが、今年の夏は、梅雨が明けてから酷暑の日が多く、毎日のように熱中症警戒アラートが発表され、うだるような暑さが続いています。

「熱中症警戒アラート」は、熱中症の危険性に対する「気づき」を促すことを目的として気象庁と環境省が共同で発表する情報で、気温、湿度、日射量などをもとに算出する熱中症予防の暑さ指数(WBGT: Wet Bulb Globe Temperature)で、発表対象地域内の暑さ指数(WBGT)算出地点のいずれかで、日中の最高暑さ指数を33以上と予測した場合に発表されます。

熱中症警戒アラートが発表されている日は、室内等のエアコンによる涼しい環境の中で過ごし、こまめな休憩や水分補給・塩分補給をしてください。特に、高齢者や乳幼児等は熱中症になりやすいので注意するとともに、周囲の方も声がけをして熱中症予防に努めてください。

さて、このような暑い中、花の都パリでは1924年以来、100年ぶり3度目のオリンピックが、7月26日(金)から8月11日(日)までの17日間、206の国や地域からのアスリートの参加で32競技、329種目で開催され、日々熱い戦いが繰り広げられています。

スポーツ好きの私は、睡眠不足になりながら、テレビを通じてアスリートがこれまでに培った努力の成果を精一杯発揮して、上位入賞を目指している姿に一喜一憂しながら拍手と声援を送っています。参加しているアスリート一人一人が、自身の持っている力の限界に挑戦し、一途に競技している姿に感動を



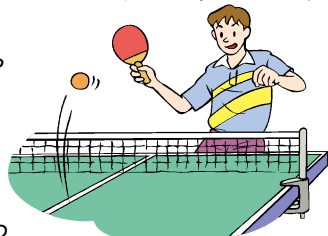
みで勝ち取ったメダルではなく、監督・コーチ・家族をはじめ、そのアスリートに関わったすべての人々の支えがあって「このようなメダル獲得につながった。」と一人一人が感謝の気持ちを伝えていました。



ところで、スポーツの楽しさには、人間を行動に向かわせるための二つの動機づけが関連していると言われています。一つは、競争に勝つ、ほめられる、注目されるなど、外的な報酬・目標によって行動への意欲が引き出される「外発的動機づけ」が満足させられる楽しさです。もう一つは、それぞれの運動遊びやスポーツを行うことで直接的に得られる独自の楽しさ(バスケットボールであれば、シュートがゴールに入る、アシストパスが通る、相手ボールをインターセプトするなど)や喜びが報酬・目標となる「内発的動機づけ」が満足される楽しさです。この楽しさは、いわゆる「スポーツをする楽しさ」で、それ以外に「みる」「知る」楽しさもあります。「みる」楽しさとは、オリンピックやプロ野球などのスポーツ観戦を通して、アスリートが繰り広げるパフォーマンスに興奮したり感動したりすることです。「知る」楽しさとは、それぞれのスポーツが発生してきた歴史やルールなどを知って他の人に伝える楽しさもあります。

スポーツは英語の「sports」から来ている単語で、「sport」は気晴らしや楽しみ、遊びなどを意味する「disport」が変化した言葉とされています。

パリオリンピックはあと2日で終わりますが、特に「みる」楽しさを思う存分体験するとともに暑い夏を乗り切る意味でも「する」スポーツも大いに体験してください。



教育委員会の取組

こども会議を開催しました！

7月16日(火)午後2時から、小中学校の児童会・生徒会等の学校代表の子どもたちが集まってさわやかホール4階の大会議室で子ども会議を開催しました。

この取組は私のかねてからの念願であった取組で、その目的は、広陵町の子どもたちを対象とする、「こどもまんなか社会」実現のため、常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組を推進するもので、こどもの視点で、こどもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、こどもの権利を保障し、こどもを誰一人取り残さず、健やかな成長を後押しします。そのために、子どもたちの町や学校に対する想い(私たちのために、こんなことをやってほしい、こんなものを作ってほしいなど)を聴く場として、また、お互いに意見交流するとともに、横のつながりも大切にしたいという想いで、「こども会議」を開催しました。

特に、はじめのあいさつの中で、私の想いとして「笑顔あふれる学校、笑顔あふれる広陵町」にするために子どもたちの純真な意見や要望を聞くためにこの会議を持ちましたと話しました。そして、第1回目として、まずは、町内の学校、校区を知ろうということで、子どもたちの視点での各学校の紹介と校区における地域自慢(文化財、景勝地、有名人等)をしてもらいました。



裏面へ



司会進行は、広陵中学校の二人が担当してくれました。各学校、5分前後の発表でしたが、子どもたちが自身の学校の紹介を自らが作った写真やスライドで分かりやすく説明していました。

私は、あとの講評で「皆さんが通っている学校の特色や取組、校区にある有名な文化財や名所などを紹介してもらってとてもよくわかりました。今回は、『町内の学校・校区を知ろう』という取組でしたが、次回は各学校から出てきた『笑顔あふれる学校、笑顔あふれる広陵町』にするための案を各学校で聞き取りしてもらって、活発な意見交流をしてもらえればうれしいです。」と話しました。参加してもらった子どもたちからは、「緊張したけど、うまく発表できて良かった。」や「同じ町内でも他の学校の人たちとあまり関わることがないので、こんな機会がたくさんあれば良いと思います。」といった感想をもらいました。次回に予定している2学期末のこども会議がとても楽しみです。

ライブペイントイベントで盛り上がりました！



広陵町が包括連携協定を締結しているイズミヤショッピングセンター広陵で「まちじゅう図書館」がオープンしたことを機に、7月15日(月)に、まちじゅう図書館のまっ白な壁に子どもたちが思いついた絵を描くライブペイントイベントが行われました。



参加した子どもたちは、一人一人が思いついた絵を思いっきり楽しそうに、身体じゅう絵の具だらけにしながら描いていました。最後には、奈良芸短大の先生と学生さんが子どもたちが描いた絵をうまくコラボさせながら、本棚風の壁に仕上げてくださいました。皆さんも一度、イズミヤさんに足を運んでまちじゅう図書館の壁を見ていただければと思います。

「親子で一緒に料理をしよう！」

7月24日(水)の9時半から、真美ヶ丘第一小学校の家庭科室において、「親子で一緒に料理をしよう」というタイトルで、親子料理教室が開催されました。「広陵町・奈良県の地場産物を知ろう！」をテーマに「親子のふれあいと給食メニューを作ることで給食に興味をもつ」などの目的で開催されました。メニューは、主食の白ごはん、スタミナ納豆・広陵町産なすのラタトゥイユ・塩こうじ汁、そしてデザートに広陵町産イチゴのムースと盛りだくさんな料理でした。



調理前には、エプロン、三角巾、マスクなどの身支度を整え、栄養教諭の先生方からメニューの説明とともにそれぞれの調理のデモンストレーションを見た後、5グループに分かれての調理が始まりました。親子で役割分担をして、楽しく会話しながら和気あいあいとした雰囲気での調理でした。

特にメインディッシュであるスタミナ納豆とラタトゥイユは使う食材も多いことから、調理に少し時間がかかってい



ましたが、先生方の的確なアドバイスにより食欲をそそるとてもおいしい料理が次々と出来上がりました。最後にそれぞれのグループで作った料理をみんなで試食しましたが、一人一人満面の笑みを浮かべ、本当においしそうに試食していました。

「おしごとチャレンジデー」を開催！

昨年に続いて、7月28日(日)に「おしごとチャレンジデー」を



開催しました。今年は、昨年と同様の警察、消防士、ナース、図書館司書のお仕事体験のほか、和菓子作り、靴下(ししゅう、プロスポーツ、チアリーダー)のおしごと体験の8種類の体験でした。私もすべてのブースを見て回りましたが、どのブースでも教えていただいている方々が、懇切丁寧に親身になって教えていただいている姿に感動すると同時に子どもたちが将来、これらの仕事にぜひ就いてほしいという想いを強くもちました。子どもたちには、将来、就きたい職業に夢をもってもらうととも

にこのような仕事を体験するキャリア教育を教育委員会としても大いに推進していきたいと思いました。

交通安全こども自転車全国大会で健闘！

奈良県大会でみごと優勝した北小学校5年生の4人が、全国大会に向けて、毎日うだるような暑さの中、6、7月の放課後、そして夏休みに入っの午前中に体育館をメインの練習場として、香芝署交通課の方や町安心安全課、教育委員会のサポートを受けて懸命に練習を続けてきました。私も何度か練習を参観するとともに、8月5日(月)には山村町長と共に激励に行きました。体育館には、全国大会出場の励ましのメッセージとして、北小の子どもたちや先生方、そして香芝署長や町長、私の寄せ書きが書かれた横断幕が掲げられていました。そして、8月7日(水)には全国大会の会場となった東京ビッグサイトに応援に駆けつけました。吉田校長先生をはじめ、引率責任者の原田先生、県交通安全協会の方々、直接指導していただいた香芝署交通課の方、そして、保護者の皆さんが応援にいられていました。



大会は、学科テストと技能テスト(安全走行・技能走行)からなり、4人の合計得点で評価されます。学科テストの後、実技テストとなり、一人一人が緊張する中、これまでに培った練習の成果を思いっきり発揮していました。結果は、25位と大健闘でした。一人一人のがんばりと4人の団結した演技に感動するとともに目頭が熱くなりました。演技が終わったみんなには、「本当によくがんばった。来年もぜひ県大会で優勝し、また、この場所に来て、優勝をめざしてほしい。」とエールを送りました。